

水質保全みえ

No.72 平成27年1月

発行/(一社)三重県水質保全協会 〒514-0004 津市栄町三丁目119
TEL 059-226-2058 FAX 059-227-8402
<http://www.mieken-suisituhozenkyokai.or.jp/>

目 次

- ・新年の挨拶 会長…………… 2
- ・年頭の御挨拶 知事…………… 3
- ・浄化槽保守点検の実務者講習会開催…………… 4
- ・10/1浄化槽大会出席…………… 5
- ・要望書提出…………… 6
- ・浄化槽工事検査事業を開始しました…………… 7
- ・浄化槽管理士講習・浄化槽技術管理者講習会
実施案内…………… 8
- ・協会のこよみ、会員ニュース…………… 9
- ・お知らせ…………… 10





新年の挨拶

一般社団法人 三重県水質保全協会

会 長 松 平 仁

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より当協会事業につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度も会員の皆様のご期待に添えるよう、また、協会の発展の為、尽力させて頂く所存でございます。

さて、平成26年を振り返りますと、新規事業の浄化槽工事検査事業の立ち上げに伴い平成25年11月と平成26年1月に浄化槽工事講習会を開催致しました。浄化槽工事検査とは、三重県内の浄化槽工事において浄化槽法、建築基準法、その他関係法令、三重県浄化槽指導要綱に基づき適正な施工がなされたかの検査を当協会が行うことにより、浄化槽の信頼性の確保と浄化槽設備士の確立を図るために当協会が自主的に行う検査のことです。この講習会を経て、無事に10月より浄化槽工事検査事業を開始することが出来ました。これも皆様方のご協力・ご支援があつてのことでございます。この場をお借りし、御礼申し上げます。

また、3月と10月に浄化槽保守点検の実務者講習会を実施致しました。講習会等を活発に行い、協会会員の技術の向上に努めていくことが協会の本来の役割であり、それを果たすべく今後とも尽力してまいりたいと思っております。

そして、三重県のすばらしい自然を維持するには、浄化槽の適正な施工、保守点検、清掃が必要なのは言うまでもありません。従来から実施されている浄化槽法定検査と、当協会が10月より開始致しました浄化槽工事検査事業が浄化槽の検査事業の両輪として機能すれば、浄化槽の信頼性に貢献するのではないかと考えております。その為にも関係機関と協力し、より一層浄化槽の普及啓発に努めて参ります。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。会員の皆様に期待される協会を築きあげていくため、今後ともご協力、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



年頭の御挨拶

三重県知事

鈴木 英 敬

新年あけましておめでとうございます。

平素は、本県の浄化槽行政の推進にあたりご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今、国際社会において、地球規模の環境問題への取組が進められている中、地球温暖化については危機感が年々高まっており、気候変動枠組条約締約国会議において、2020年以降の国際的な枠組みについて話し合いが進められています。

一方、国内においても、平成23年に発生した東日本大震災を機にエネルギー問題について活発な議論が行われるなど、環境問題への関心が高まっています。

本県では、県民ニーズの変化に適切に対応し、県民の皆さんと共に新しい三重づくりに取り組むための指針として、平成24年度から「みえ県民力ビジョン」をスタートさせ、同時に4年間の中期計画として「みえ県民力ビジョン・行動計画」を策定しています。

平成27年度は「みえ県民力ビジョン・行動計画」の最終年度であり、目標達成に向けオール県庁で必達意識を持って、県政の諸課題の解決を着実に推進していきます。

特に、水環境の保全については、「伊勢湾における化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る総量削減計画」(第7次)に基づき、工場・事業場等からの汚濁負荷削減を図るとともに、生活排水対策では、生活排水処理アクションプログラムに基づき、浄化槽、下水道、集落排水施設等の効率的・効果的な整備を進めることとしています。

また、昨年1月には、汚水処理の早期概成と既整備地区の効率的な改築・更新及び運営管理の検討などが新たに盛り込まれた「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」が国により策定されました。これを受け、本県においても生活排水処理アクションプログラムの見直しを進めているところです。

本県の生活排水処理施設の整備率は、平成25年度末で80.8%と8割に達し、施設整備は着実に進展してきましたが、全国平均の88.9%と比較すると依然として低い状況にあり、未普及人口の解消が課題となっています。

そうした中、本県の生活排水処理における浄化槽の割合は全国的に見ても高いところですが、人口減少等の社会情勢や経済情勢の変化を踏まえると、浄化槽の果たす役割は今後、ますます大きくなるものと考えられます。

一方、浄化槽の機能を十分に発揮し、良好な放流水質を維持するためには、適正な施工、保守点検、清掃、及び法定検査が重要です。とりわけ、近年の高度化、複雑化する浄化槽に対応するための知識の取得は欠かせないものとなっています。

貴協会の皆様におかれましては、さらなる技術の研鑽に努められ、引き続き浄化槽の適正な施工と維持管理にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と貴協会のみずみずのご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

10月29日浄化槽保守点検の実務者講習会を開催しました

平成26年10月29日、浄化槽保守点検の実務者講習会を協会3F会議室にて開催しました。

日 時 平成26年10月29日(水) 13時30分

開催場所 協会 3F 会議室



会場風景

式 次 第

一、会長挨拶

一般社団法人三重県水質保全協会 会長 松平 仁

一、ダイエー浄化槽 FCE型維持管理の説明について

講師 大栄産業株式会社 本社営業部 都築 秀昭

一、ニッコー浄化槽 浄化王NEXT型維持管理の説明について

講師 ニッコー株式会社 技術開発部 部長 和田 吉弘



ダイエー浄化槽 FCE型



ニッコー浄化槽 浄化王NEXT

講習会は、13時30分より開催され、松平会長の挨拶から始まり、ダイエー浄化槽FCE型維持管理の説明について大栄産業(株)本社営業部 都築 秀昭 氏に講演して頂きました。

休憩をはさんで、ニッコー浄化槽 浄化王NEXTの維持管理の説明についてニッコー(株)技術開発部 部長 和田 吉弘 氏に講演して頂きました。

それぞれの講演終了後、講演対象である浄化槽カットモデルの見学・説明を行いました。実際に見て、説明を受けられるのは大変貴重な経験で、皆様熱心に講習を受けられました。

10月1日浄化槽大会出席

清掃部会 豊田副会長が表彰されました



会場風景



松平会長と望月環境大臣と豊田副会長

平成26年10月1日、東京にて行われました「第28回全国浄化槽大会」に三重県水質保全協会からは、松平会長、豊田副会長、川上事務局長が出席されました。

式典は午後2時から始まり、冒頭の挨拶には「浄化槽の日」実行委員会を代表し、全浄連の上山健治郎会長が挨拶されました。

続いて浄化槽適正整備推進決議の採択が行われ、一般社団法人浄化槽システム協会の二俣一登会長が浄化槽の適正な普及促進など5項目の決議文を読み、満場一致で採択されました。

功労者表彰は、環境大臣表彰で21名、国土交通省土地・建設産業局長表彰で4名、国土交通省住宅局長表彰で1名、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰で19名が受賞されました。内、環境大臣表彰では、清掃部会の豊田副会長が表彰されました。誠にありがとうございます。

(10ページに写真を掲載しています)

浄化槽大会標語の入賞作品は、最優秀賞に「浄化槽で生まれ変わる水 生まれ変わる町」が選ばれ、更に優秀賞で5作品が入賞しました。

その後の記念講演では、宮城大学理事・食産業学部環境システム学科の岩堀 恵祐教授が、「古今東西糞尿譚～今後の浄化槽に期待する～」をテーマに、アテネやローマ帝国の衰退の遠因ともなった古代のトイレ事情と公衆衛生の関係、日本の生活排水処理の直近の動向、静岡県の生活排水処理長期計画検討委員長として関わった都道府県構想の見直しについて説明し、その上で浄化槽については、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への早急な転換促進と、法定検査受験率の向上が必要だと述べられました。

午後5時からは懇親会が開かれ、68名の国会議員が出席され、挨拶されました。加えて国会議員代理の62名の秘書の方々が出席されました。

乾杯の発声では、鈴木俊一自由民主党浄化槽推進議員連盟幹事長が「浄化槽は格安に整備でき、また、東日本大震災を通じて浄化槽の優位性は国民みんなが知っている。この大切な浄化槽をますます広めていこうということが『浄化槽の日』の大きな目的。この目的が達せられるよう、関係の皆様力を終結して前に進みたい」と挨拶されました。

その後は、数十名の国会議員の挨拶を交え、午後6時半まで、参加者一同親睦を深めました。

7/10新政みえ、7/28自民党に要望書を提出しました

平成26年7月10日に三重県議会新政みえ、平成26年7月28日に自由民主党三重県支部連合会へ、それぞれ要望書を提出しました。

(要望書提出内容)

浄化槽は、下水道並みの水処理能力を持つ生活排水水処理施設であるだけでなく、「建設・維持管理コストが安く」「建設期間が短く投資効果に速効性がある」、しかも「地震等の災害に強い」施設です。

また、浄化槽は「公共用水域の水質保全に大きな役割を果たし、美しい国土を守るために有効かつ財政面からも無駄の無い極めて効率的な施設」であります。

本来、生活排水処理施設の整備は公の責任において行われるべきものでありますが、これまで個人で設置した浄化槽は私有財産とはいえ、元々下水道計画が進捗しない中で整備されてきたものであり、これらを含め、今後の浄化槽整備は公の事業としての性格を持つべきものであります。

つきましては、平成27年度の予算編成にあたり、水環境の保全、地方財政の健全化のため引き続き浄化槽の計画的な整備促進が図られますよう、次の事項についてその実現を要望します。

(1) 平成26年10月1日から当協会が自主的に実施する浄化槽工事検査事業に対する県及び市町の協力を要望します。

浄化槽工事講習会を平成25年11月と平成26年1月に開催しました。対象は、三重県に浄化槽工事業の登録をされている非会員も含めた600社に案内を出して、362名の方に受講して頂きました。浄化槽工事を行う者に対し講習会等を活発に行い、これらの活動を通じて県民の皆様に適正な浄化槽施工の提供を行ってまいりたい。

(2) 浄化槽の維持管理に対する助成制度の創設

浄化槽の維持管理費（保守点検・清掃・法定検査）に対して、国の助成制度はありません。市町では下水道の家庭使用料を補助するために、浄化槽使用家庭からの税金も入っている一般会計から下水道特別会計に補填がされています。浄化槽使用家庭に対しても、下水道使用家庭同様の維持管理費助成がなされるべきであります。



会場風景（7月10日 新政みえ）



会場風景（7月28日 自民党）

三重県水質保全協会浄化槽工事検査を開始しました

(目的) 三重県内の浄化槽設置について、浄化槽工事が、浄化槽法、建築基準法、その他関係法令に定めるもののほか三重県浄化槽指導要領に基づき適正な施工がなされたかの検査を行うことにより、浄化槽の信頼性の確保と浄化槽設備士の確立を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とした、当協会が自主的に行う検査です。

三重県水質保全協会浄化槽工事検査要領

(事業実施日) 平成26年10月1日より事業実施

(検査機関) 一般社団法人三重県水質保全協会

(検査料金) 1浄化槽毎に1件とし、協会会員1,000円、会員外2,000円(税込)

(検査方法) 浄化槽工事検査依頼書に添付された主要工事項目の写真を確認して行う写真検査

(主要検査項目) ①浄化槽工事着工前写真は浄化槽設備士が工事標識及び概要を示した黑板等と共に写っていること。
②浄化槽工事に使用する浄化槽本体は型式が写っていること。
③根切り(掘削)底の砕石は十分突き固めて敷き詰めてあること。
④基礎コンクリートは鉄筋入のコンクリートとする。もしくは必要とする強度がある既成コンクリート板とする。既成コンクリート板の連結は不可とする。
⑤浄化槽本体への水張り、水平出しの状況が分かること。
⑥浄化槽本体据付後の埋戻しの土は良質土とする。
⑦埋戻しは中間部分で完全に水締めによって突き固め、その後同様に上部分も行う。

・浄化槽工事検査の手続き方法

(1) 浄化槽工事検査依頼書の提出

添付書類

①浄化槽工事写真

②浄化槽型式適合認定別添図面

③浄化槽設備士免状の写し及び水質保全協会が交付した浄化槽工事講習会受講修了証の写し

(2) 浄化槽工事検査依頼書の受付

(3) 浄化槽工事検査依頼書の受理

(4) 浄化槽工事検査結果通知書の発行

お知らせ

「浄化槽工事検査依頼書」が協会ホームページ

(<http://www.mieken-suisituhozenkyokai.or.jp/>)

からダウンロードできるようになりました。是非、ご利用下さい。

協会ホームページトップメニューの「各種申請書ダウンロード」の中の「浄化槽工事検査依頼書」

(1枚目)及び(2枚目)、浄化槽工事検査受付書(3枚目)を選択して下さい。

浄化槽管理士講習・浄化槽技術管理者講習会実施案内

平成26年度「浄化槽管理士講習」実施案内

開催場所及び日程（受付期間が平成26年1月以降の分）

開催場所	講習期間	受付期間	受講申請受付機関
東京会場	平成27年 3月9日(月)～3月21日(土)	平成27年 1月23日(月)～1月30日(月)	(公財)日本環境整備教育センター TEL：03-3635-4880
福岡会場	平成27年 3月2日(月)～3月14日(土)	平成27年 1月19日(月)～1月26日(金)	(一財)福岡県浄化槽協会 TEL：092-947-1800

- 受講資格 学歴・実務経験等の資格要件は特にありません。
- 受講料 129,700円（浄化槽設備士資格取得者で受講一部免除を選択する方は120,200円）
- 受講申請 受講申請書は上記受講申請受付機関より入手してください。
1部300円（郵送の場合は送料込1部440円）
- 問い合わせ先 公益財団法人日本環境整備教育センター
〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL：03-3635-4880
一般社団法人全国浄化槽団体連合会
〒162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町13 東京洋服会館7階 TEL：03-3267-9757

平成26年度「浄化槽技術管理者講習会」実施案内

開催場所及び日程（受付期間が平成26年1月以降の分）

開催場所	講習期間	受付期間	受講申請受付機関
東京会場	平成27年 3月3日(火)～3月5日(木)	平成27年 1月26日(月)～2月3日(火)	(公財)日本環境整備教育センター TEL：03-3635-4880
大分会場	平成27年 3月18日(水)～3月20日(金)	平成27年 2月2日(月)～2月13日(火)	(公財)大分県環境管理協会 TEL：097-567-1855

- 受講資格 浄化槽管理士であること。
- 受講料 49,000円
- 受講申請 受講申請書（無料）は上記受講申請受付機関より入手してください。
- 問い合わせ先 公益財団法人日本環境整備教育センター
〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL：03-3635-4880
一般社団法人全国浄化槽団体連合会
〒162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町13 東京洋服会館7階 TEL：03-3267-9757



協会のこよみ (1月1日～11月30日)

1月10日	浄化槽工事講習会	2月27日 ～28日	全浄連 東海支部連絡会議
3月 2日	民主党躍進パーティー	4月 4日	全浄連 東海支部事務局長会議
3月 5日	浄化槽保守点検の実務者講習会	4月16日	保守点検部会 / メーカー部会
3月17日	平成25年度第4回総務委員会	4月17日	施工部会 / 清掃部会
3月19日	第3回理事会		
5月 9日	監査	6月 4日	協会事務室改修工事現場説明会
5月12日	平成26年度第1回総務委員会 / 倫理委員会	6月13日	愛浄協40周年記念式典祝賀会
5月14日	平成26年度第1回理事会	6月18日	全浄連第2回定時総会
5月17日	自民党セミナー	6月24日	平成26年度第2回総務委員会
5月28日	第30回通常総会 / 理事会	6月25日	平成26年度第1回企画・事業委員会
7月10日	新政みえ要望聴き取り会議 / 倫理委員会	8月27日	平成26年度第3回総務委員会
7月28日	自民党要望聴き取り会議		
9月10日	全浄連 第1回製造・施工、技術専門部会	10月 1日	浄化槽大会
9月26日	全浄連 東海支部事務局長連絡会	10月29日	浄化槽保守点検の実務者講習会
11月13日	平成26年度第4回総務委員会		
11月27日	平成26年度第2回企画・事業委員会		

会員ニュース

1. 会員登録情報の変更

(平成26年 7 月 1 日～11月30日)

変更事項等	変更後の会員登録情報	所属部会等
電話番号	真砂電気店 05979-4-1046	施 工

2. 現在の会員数

(平成26年11月30日現在)

会員別	部会	会員数
正会員	施 工	1 2 0
	保守点検	4 2
	清 掃	2 5
	メーカー	1 8
小 計		2 0 5
賛助会員		2
合 計		2 0 7



10/1浄化槽大会において、清掃部会豊田副会長が環境大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰を受賞しました



表彰される豊田副会長

10月1日東京にて行われました浄化槽大会において、当協会の清掃部会 豊田 和人 副会長が、環境大臣官房長廃棄物・リサイクル対策部長表彰を受賞致しました。おめでとうございます。



【年末年始のご案内】

年末年始は12月27日(土)～1月4日(日)まで

お休みさせていただきます。

受付業務は1月5日(月)から始めます。

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。



謹 賀 新 年

会 長	松 平 仁	理 事	大 森 省 三
副 会 長	田 邊 三 郎	〃	芦 田 和 也
〃	強 力 信 宏	〃	宝 門 誠
〃	豊 田 和 人	〃	岩 澤 理 夫
〃	鈴 木 幸 廣	〃	谷 口 健 太 郎
理 事	北 田 富 三	〃	瀬 尾 卓 巳
〃	柴 原 行 正	監 事	志 賀 和 博
〃	吉 村 哲 夫	〃	西 田 卓
〃	中 村 英 司	〃	新 垣 光 廣
〃	東 浦 崇 真	〃	徳 田 健 司
		事 務 局 長	川 上 国 英